

当社は「業務改善で、人づくり、動きづくり」をスローガンに掲げて15年の経歴を持つようになりました。本年から、守秘義務を尊重しながら、皆様にお役に立つ業務改善の事例を中心にご紹介して行きます。よろしくお願ひします。 栩野

MMQCとは「もっと儲かる業務改善」で「業務改善は、人づくり、動きづくり」を実践する着実・前向き・具体的な活動です。

アウトプットを事業仕分けしませんか？



Yahoo画像検索より

左掲は、民主党の蓮舫議員の写真で、いわゆる「事業仕分け」で有名になったスナップです。リストアップされた400以上もの事業を要・不要と仕分けする光景は、今も鮮明に記憶に残っていますね。

ムダ・ムラ・ムリを取ると「第3の利益」がアップする

私は、業務改善のコンサルタントとして約15年、サラリーマン時代を入れると約38年の経歴を持っています。その活動の信念は「第3の利益」へのこだわりであります。

サラリーマン時代は、経営企画室を担当して、トヨタ方式の推進に従事し現場改善で多くの事例を担当して来ました。それらの活動を通して何が変わるかと言うと多くは「ムダな在庫や仕掛が減少して、在庫金額が減少して資金繰りが良くなることで大きくは借入金の金利負担が減少するという経常利益(第3の利益)に貢献する事が出来たのです。

まず、コンピュータのアウトプットから事業仕分けしましょう！

「3年以上経過したコンピュータのアウトプット資料は、使われていない可能性が高い」と言う警告をご存知でしょうか？毎月、毎週、毎日というタイミングで出力される膨大な資料はないでしょうか？いろんな種類があると思います。

業務改善コンサルタントとして、

・資料の名称、タイミング、業務分類、依頼者、依頼日などを調査する事から始めます。意外に驚くのは、最初の依頼から何年も同じフォームで印刷されている資料が多いのです。どんな資料もニーズがあって作成するようになったのですが、例えば、3年も経過して、そのニーズが今も有効なのかという単純な疑問から入ります。

「ニーズ」は、人が変わっても、時間が経過しても変わるものなのです。ところが、コンピュータ処理は、ニーズの変化に関係なく律儀に毎回しかも大量にデータ処理してくれるのです。

現実に「積んでおく」だけの資料として、ファイリングされて満足というケースがあるのです。

また、「ニーズ」が変わっているのに、この大量のコンピュータ資料を元にして、現場でエクセルにインプットし直して再度、加工しているケースもあるのです。

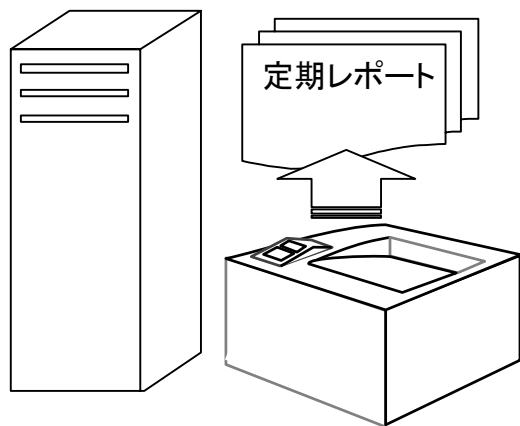
「ムダ」・・・ヤメルと勇気がムダを排除してくれます

「ムラ」・・・毎回、欲しいという催告で対応する事で解決できます

「ムリ」・・・エクセルに再加工するのを排除する

などの視点で「資料」を再点検しましょう。

案外、現場のニーズが薄れた資料を大量に作って満足しているこっけいな状況を見受けます。(栩野)



豆知識: 蓮舫さんはアイドルだった！



左掲は、yahooの画像検索で出て来た蓮舫さんの写真です。私は、彼女がグラビアアイドルだったとは、つゆ知らなかったのでビックリしています。どんな世界でも色々な経験をする事が大切ですね。蓮舫さんのご苦勞の一端を見た感じています。